

決 議 文

春の訪れを感じる木々の芽吹き・花々の開花・・・いつもなら田植えの準備に勤しむ季節のはずでした。

私たちの飯舘村は地震の影響は沿岸部に比べれば少なく、本来ならば地震後すぐに近隣の市町村へ駆けつけ、被災した人達の支援に向っているはずでした。

しかし、私たちの愛する飯舘村には、忘れもしない去る平成23年3月11日の大震災と、その津波に起因する福島第一原子力発電所の事故により、信じられないほどの放射性物質が降り注ぎ、祖先が、私たちが心血を注いで大切にしてきた大地が汚染されてしまいました。

あの大震災から1ヶ月半・・・今も放射能の恐怖に曝されています。

そして今、怒り、憤り、不安、戸惑い、悩み・・・様々な言いようのない思いが私たちの胸にこみ上げています。

私たちは奇しくもこのような事態になって、あらためてこの村と、この村に生きて来た意義を深く見つめ直しています。

緑々と広がる牧草地、青く突き抜けるような空、一斉に咲き乱れる花々、黄金色に輝く稲穂、満天に瞬く星空・・・・その景色をもう一度大切な人たちと眺めたい、そして今まで通り子供たちの笑い声のする登校風景、おじいちゃんやおばあちゃんの笑顔をこの飯舘村で見たいのです！

その日を迎えることを、再び飯舘村の土の上で子供たちが走り回れるために、彼らに未来を託すことが出来るように、以下のことを決議します。

私たちは国と東京電力に対して

- 一、原発事故の一刻も早い収束を求めます。**
- 一、迅速な計画的避難の完了を求めます。**
- 一、私たちが暮らしてきた飯舘村の返還を求めます。**
- 一、私たちの愛郷心を維持し子ども達に未来を託すための必要な補償を求めます。**

平成23年 4月26日

村民決起集会に集う仲間一同